

## Amir Tsarfati 氏 2018年12月23日公開 ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる

私は今、ハイファにある老人ホームの屋上にいます。ここは、イスラエルで唯一、イエスを信じるユダヤ人と非ユダヤ人のお年寄りたちの場所です。



ハイファの街の夜景をバックに（動画より）

「Ebenezer ホーム」と呼ばれ、約30名の方が暮らす、とても美しく素晴らしいところです。またここは、バハーイー教聖地群のすぐ下で、30万人が暮らすイスラエルの第3都市ハイファに、現在、私はいます。しかし、ハイファ地域には、約100万人が暮らしています。つい先ほど、アメリカのシリア撤退の決断に関して、短いアップデートを終えました。よかったら、後ほどご覧ください。まずはお祈りをして、それから私の大好きな聖書の学びを始めましょう。私は、アップデートも大好きですが、聖書、御言葉の教えは、私が最も情熱を捧げていることなので、とても楽しみです。では、祈りましょう。

お父様。感謝します。

あなたの御言葉は真実で、あなたの御言葉は、私たちを聖め別つ道です。お父様。あなたの御言葉によって、私たちを聖め別ってください。あなたの御言葉は真理です。私たちは、御言葉を学び、あなたの御言葉の深みに行き、あなたがどういうお方で、あなたが何をされ、私たちが何を行うことをあなたが望んでおられるかを、あなたの御言葉を通して、私たちが理解出来るようにしてください。お父様。この季節に感謝します。目的を私たちにお知らせください。今日、イスラエルの地、ナザレの地から約30マイル（約48km）離れたハイファより、イエスが生まれる700年前に、預言者イザヤに与えられたあの約束について学びます。

### 6 ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。

（イザヤ9:6）

お父様。ありがとうございます。イエスの御名によって。アーメン。

アーメン！

結構な人数の人達が、聖書の学びに残ってくださって、とても嬉しく思います。私は、聖書の学びは、他のどんなアップデートよりもはるかにずっと重要だと思っています。アップデートも良いものですが、もし、あなたが神の御言葉に根を下ろしていなければ、神の御言葉を学んでいなければ、あれらのアップデートは、ただ、あなたの魂を満足させる手段にはなっても、あなたの霊は満たされません。あなたの知識は満足するかも知れませんが、神の御言葉には繋がりません。ですから、どうか、これから始めるこのメッセージを聴いてください。

さて。信じ難いかも知れませんが、ここから100mほど離れたところに、非常に美しい道があって、

ユダヤ人とアラブ人が混ざり合って暮らす町、ハイファのその通りでは現在、皆がホリデーの中のホリデーを祝っています。通りの中心には、大きなクリスマスツリーと、大きなハヌカのメノラー、それから、小さなモスクの模型の上に、大きな三日月が置かれています。

彼らは、特定の祝日や、特定の祝日の理由を示唆することなく、ホリデーシーズンを広めようとしています。さて、イスラムは、少し横に置いておいて、圧倒的にユダヤ教徒、クリスチャンが現在、この季節を祝っています。ハヌカ、クリスマス。

そこで、皆さんが理解しておくべきなのは、ハヌカとクリスマス、両方ともが伝統的な祝日であるという事、聖書のどこにも、これを祝うように命じられていません。

他でもなくイエスは、信者達に、彼の誕生を祝うのではなく、彼の死を記念して祝うように命じられました。当然、よみがえりも、洗礼という形で祝われています。彼が、戻って来られるまで。

興味深いのは、ヨハネ 10 章 22-29 によれば、イエスは、ハヌカの時、エルサレムにおられました。彼は、ハヌカについては、一切何も教えていませんし、マカバイや、あそこで起こった偉大な奇跡について、一切語っておられません。彼は一度も、ハヌカのろうそくに 火を灯したりしていません。

そうでなく、ハヌカの時期、ユダヤの伝統的祭日の最中、冬の時期に、イエスがエルサレムで語られたのは、彼ご自身について、彼がただ人であるだけでなく、肉体をまとった神であられること、彼と、父なる神とが一つだということです。

私達は、これを理解しなければなりません。

イエスは季節を利用して、人々に理由を語りました。彼は、ハヌカを利用されたのです。

念頭に置いてください。クリスマスは、当時存在しませんでした。

念頭に置いてください。イエスの時代、新約聖書は存在しませんでした。

私はいつも言いますが、イエスはただの一度として、新約聖書から説教をされた事はありません。

また私はいつも言いますが、イエスが訪れ、説教をしたり、祈った教会は一つもありません。

イエスは、ダビデの血筋から世に来られ、ユダ族のユダヤ人として、シナゴークを訪れていました。

彼はユダヤの祭日を祝い、安息日には、シナゴークで説教をされました。

皆さん、理解しておいてください。イエスはユダヤの環境の中で、ユダヤ人たちに神からの約束がある事を知って欲しいと願われたのです。

メシアが肉体をまとして生まれること。

しかし彼は肉体をまとった“ことば”であること。

ことばは、人となって、私達の間に住まわれること。

それから私たちが理解しておくべきなのは、彼は、伝統と伝統的な祝日を祝い、それを承認するために来られたのではない、ということ。

彼はそれを利用して、彼ご自身について、彼の神性について、彼がメシアであること、彼の贖い<sup>あがな</sup>について、語られました。これが、これら全ての美しい点です。

ですから私たちは今、リセットしなければなりません。人差し指を使って、脳をリセットしましょう。こういった全ての騒ぎや何か、私たちの周りにあるものを忘れましょう。そして、物事が甚<sup>はなは</sup>だしく誤解される以前に戻りましょう。

もう一つ、私達が理解しておくべきなのは、こんにちの出来事が聖書の成就であって、驚くべき事なのと同様に、2000 年前の出来事も、そうでした。

皆さん、理解しておいてください。ヘブル書 1 章には、こうあります。

- 1 神は、むかし先祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、
- 2 この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。

(ヘブル 1:1-2a)

「この終わりの時」というのは、2000 年前に始まったのです。イエスと、この地上で。  
そして 2000 年前の出来事は、驚くべき事だったのです。当時も、聖書預言の成就でしたから。

ですから、皆さん、理解しなければなりません。  
神は、そのご計画と御心を、預言者たちを通して、世に伝えられたのです。  
アモス書3章7節は、こう告げています。

- 7 まことに、神である主は、そのはかりごとを、ご自分のしもべ、預言者たちに示さないでは、何事もなさない。  
8 獅子がほえる。だれが恐れないだろう。神である主が語られる。だれが預言しないでいられよう。  
(アモス 3:7-8)

イザヤ書 46 章 9-10 節は、こう告げています。

- 9 遠い大昔の事を思い出せ。わたしが神である。ほかにはいない。わたしのよな神はいない。  
10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、  
『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる。』と言う。  
(イザヤ 46:9-10)

これらの預言者たちは、預言学校で学んだ人たちでもなければ、預言でお金儲けをしていた人たちでもありません。彼らは、自分達の解釈を語ったのではありません。  
聖書には、第二ペテロ 1 章 19-21 節にこうあります。

- 19 また、私たちは、さらに確かな預言のみことばを持っています。  
夜明けとなって、明けの明星があなたがたの心の中に上るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。  
20 それには何よりも次のことを知っていなければいけません。  
すなわち、聖書の預言はみな、人の私的解釈を施してはならない、ということです。  
21 なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、  
聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。  
(第二ペテロ 1:19-21)

私の大好きな預言者の一人は、預言者イザヤです。私個人は、1990年に救われました。28年前、エルサレムで。イザヤ書 53 章を読んだ後、キャンパス・クルセードの映画「JESUS」(イエス)を見たのです。それが、私が聞いていた全ての預言に息を吹き込みました。イザヤ 7 章、イザヤ 9 章、11 章、イザヤ 53 章、イザヤ 60 章、61 章、全てです。

イザヤは、ユダの王ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代、紀元前 742 年から紀元前 687 年に生きた預言者です。イザヤは、それほど長生きはしませんでした。彼は神の御手によって使われた、素晴らしい道具、器です。そのイザヤが、6 章で主に告げています。

- 8 「ここに、私がおります。(הנה/ヒネニ)私を遣わしてください。(להלן/シュラケニ)」  
(イザヤ 6:8b)

彼は、神殿で神のご臨在を見て、驚愕したのです。

そして、聖なる神のご臨在によって、自分がどれほど汚れた人間であるかを悟ります。そして彼は、主に言いました。

「主よ。私は今、あなたの聖さを理解しました。私は今、あなたの驚くべき栄光を見えています。私を遣わしてください。私がここにあります。」

そして確かに、イザヤは遣わされました。念のために言っておきますと、イザヤは、新約聖書で最も多く引用された預言者で、またイザヤ書は、新約聖書の中で見られる、ヘブル語の御言葉の中では詩篇の次に多く引用されている書です。イザヤは、最も重要な預言者の一人です。

そして、イザヤ 29:13 にはこうあります。

- 13 …「この民は口先で近づき、くちびるでわたしをあがめるが、その心はわたしから遠く離れている。彼らがわたしを恐れるのは、人間の命令を教え込まれてのことにすぎない。

(イザヤ 29:13)

イザヤは、イスラエル国にこう言っています。

「あなた方の問題は、あなたがたの口ではない。あなたがたは、正しいことを言う。問題は、主から遠く離れている、あなたがたの心だ。なぜなら、あなたがたは神の教えに耳を傾けもしない。あなたがたは、人の命令に習っている。」

そして、素晴らしい神のしもべ、預言者イザヤは、驚くべき預言を受け取ります。9章です。

- 1 …先にはゼブルンの地とナフタリの地は、はずかしめを受けたが、  
後には海沿いの道、ヨルダン川のかなた、異邦人のガリラヤは光栄を受けた。  
2 やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に  
光が照った。

(イザヤ 9:1b-2)

イザヤは、自分が将来の出来事を語っていることを、よく知っていました。

私が聖書を大好きな理由は、聖書が、出来事だけでなく、具体的な場所についても実に正確な点です。イザヤは、イエスが生まれる 700 年前に告げています。彼が、ある特定の場所で、伝道を始めると、それは、ゼブルンの地とナフタリの地であること、それは、海沿いの道であること、ヨルダン川のすぐとなり、そこは、異邦人がたくさんいるガリラヤである、そこは、人々が霊的な闇の中にいる場所だ、と。どうして私にそれが分かるのか？それは、彼が、これらの人達に、6 節で次のように告げているからです。

- 6 ひとりのみどりごが、“私たちのために” 生まれる。

…私達、イスラエルの民のために、です。

- 6 ひとりのみどりごが、“私たちのために” 生まれる。

ひとりの男の子が、“私たちに” 与えられる。

主権はその肩にあり、

その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

(イザヤ 9:6 “” は訳者補足)

男の子は、父で、彼は神、それも、ただの神ではなく、力ある神、彼は、子どもでありながら、それでいて彼は神です。彼は男の子でありながら、御父の一部でもある。その彼に、主権が増し加わるのです。彼は初め、子どもとして来られます。

そして彼が来て、伝道を始めると、どこですか？

場所が、特定されています。マタイの福音書 4 章 12-17 節。

- 12 ヨハネが捕えられたと聞いてイエスは、ガリラヤへ立ちのかれた。  
13 そしてナザレを去って、カペナウムに来て住まれた。ゼブルンとナフタリとの境にある、湖のほとりの町である。  
14 これは、預言者イザヤを通して言われた事が、成就するためであった。すなわち、  
15 「ゼブルンの地とナフタリの地、湖に向かう道、ヨルダンの向こう岸、異邦人のガリラヤ。  
16 暗やみの中にすわっていた民は偉大な光を見、死の地と死の陰にすわっていた人々に、  
光が上った。」  
17 この時から、イエスは宣教を開始して、言われた。  
…イエスが公生涯の最初に言われた言葉をよく聞いてください。  
「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」

(マタイ 4:12-17)

イエスが、公生涯の初め、一番に言われた言葉は、すでに、世界中の多くの教会で禁じられている言葉です。しかし彼は、言われます。「悔い改めなさい」「あなたは罪人だ。」  
 「罪」「死」「地獄」これらは、創世記から、人間の恐ろしい選択の産物です。  
 そして彼は、「あなたは、悔い改めなければならない」と言われます。  
 ヘブル語で「悔い改め」とは、「向きを変える」という意味、「戻る」のです。  
 あなたは、初めは良かったかも知れないが、道を外れてしまった。戻りなさい！  
 そして興味深いのは、暗闇の中に座っていた人々について、彼は語っていますが、彼は、今（夜間）のような暗闇を言っているのではありません。彼は、霊的な闇によって苦しんでいた地域のことを言っているのです。なぜ、私にそれが分かるのか？まさに、御言葉通りだからです。  
 詩人が、詩篇 107:10-14 で使っています。

- 10 やみと死の陰に座す者、悩みと鉄のかせとに縛られている者、  
 11 彼らは、神のことばに逆らい、いと高き方のさとしを侮ったのである。  
 12 それゆえ主は苦役をもって彼らの心を低くされた。彼らはよろけたが、だれも助けなかった。  
 13 この苦しみのときに、彼らが主に向かって叫ぶと、主は彼らを苦悩から救われた。  
 14 主は彼らをやみと死の陰から連れ出し、彼らのかせを打ち砕かれた。

(詩篇 107:10-14)

ハレルヤ！！

ですから皆さん、ご覧の通り霊的な闇が、イザヤの時代、大きな悩みだったのです。  
 今の我々の時代と同様に。

そして、主が繕い、鎖を断ち切って、私たち全員の世話をする行程を始めるためには、悔い改めが、唯一の道なのです。

興味深いのが、その“時”です。面白いと思いませんか？

エジプトでは、奴隷期間が400年ありました。

ステパノが殉教するときに語った、見事な預言的宣言の中でそう言ったので、私たちは分かります。

彼は、イスラエルの民が400年間エジプトで奴隷にされていた、と語りました。(使徒 7:6 参照)

それから皆さん、最後の預言者・マラキの時代から福音の初めまで、ぴったり400年の沈黙でした。

またしても400年、人々は拘束され、奴隷だったのです。霊的奴隷です。

面白いと思いませんか？ガラテヤ4章4節には、こうあります。

- 4 しかし“定めの時が来たので”、神はご自分の御子を遣わし、この方を、女から生まれた者、また律法の下にある者となさいました。

- 5 これは律法の下にある者を贖い出すためで…

(ガラテヤ 4:4-5a “”は訳者補足)

皆さん、“定めの時”があるのです。神は、御子が世に来るための特定の時を定めておられました。

ところで、この“定めの時が来た”と同じ言葉は、ローマ書11章にも登場します。

- 25 …異邦人の完成のなる時までであり、  
 26 こうして、イスラエルはみな救われる

(ローマ 11:25b-26a)

すごくないですか？神は時を定めておられるのです。

私達には、その日その時は分かりません。しかし、私たちは時代と季節を知っています。

皆が、それを知っているはずでした。彼らが、エルサレムの壁が建った日から日数を数えてさえいれば、彼らは知っていたはずです。

アルタシャスタ王によって、ネヘミヤに、エルサレムと神殿を再建するように勅令が下った日から数えていれば、彼らは、メシアがエルサレム入ろうとする日を知っていたはずです。それは、秘密ではありませんでした。

皆さん、理解するべきです。

時は来ています。そして神は、ただ 注目だけを求めておられるのではありません。

(バプテスマの) ヨハネは言いました。

## 29 「見よ、“世の罪”を取り除く神の小羊。

(ヨハネ 1:29b “” は訳者補足)

驚きです。ヨハネのような預言者、祭司が、——ところで、彼は“バプテスト派”ではありませんでしたよ？洗礼を授けていましたが。しかしヨハネは、メシアにはイスラエルだけではなく、全世界を救う権限があることを見ていたのです。

イエスは、世の罪を取り除くために、来られたのです。

このため、パウロは、アテネにいた時、町の中心の広場で、知的なアテネの人たちに向かって、言ったのです。

24 この世界とそこにあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません。

25 また、何かに不自由なことでもあるかのように、人の手によって仕えられる必要はありません。

神は、すべての人に、いのちと息と万物とをお与えになった方だからです。

26 神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とお定めになりました。

27 これは、神を求めさせるためであって、もし探り求めることでもあるなら、神を見いだすこともあるのです。

確かに、神は、私たちひとりひとりから 遠く離れてはおられません。

28 私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。あなたがたのある詩人たちも、『私たちもまたその子孫である。』と言ったとおりです。

29 そのように私たちは神の子孫ですから、神を、人間の技術や工夫で造った金や銀や石などの像と同じものと考えてはいけません。

30 神は、そのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今は、どこでもすべての人に 悔い改めを命じておられます。

31 なぜなら、神は、お立てになったひとりの人により義をもってこの世界をさばくため、日を決めておられるからです。そして、その方を死者の中からよみがえらせることによって、このことの実証をすべての人にお与えになったのです。」

(使徒 17:24-31)

わお！

メシアの訪れの時が定められていて、全世界が備えるための時が定められてあり、神が「もう十分だ！」と言う日が定められているのです。

「もう、これらのことを見過ごさない。今は、どこでも、すべての人が悔い改めるべき時だ！」

すごくないですか？

もちろん、人は言いますよ？

「神に子どもがいるなんて。それは、ユダヤ的なのか？」

皆さん、「神の御子」という考え方は、旧約聖書の考え方です。箴言 30 章 4 節。

4 だれが天に上り、また降りて来ただろうか。

だれが風をたなごころに集めただろうか。

だれが水を衣のうちに包んだだろうか。

だれが地のすべての限界を堅く定めただろうか。

その名は何か、“その子の名”は何か。

あなたは確かに知っている。

(箴言 30:4 “” は訳者補足)

これで足りなければ、詩篇 2 章 7-12 節。

- 7 「わたしは主の定めについて語ろう。主はわたしに言われた。  
『あなたは、わたしの子。きょう、わたしがあなたを生んだ。』
- 8 わたしに求めよ。わたしは国々をあなたへのゆずりとして与え、  
地をその果て果てまで、あなたの所有として与える。  
そして最後にこうあります。
- 11 恐れつつ主に仕えよ。おののきつつ喜べ。
- 12 御子に口づけせよ。  
主が怒り、おまえたちが道で滅びないために。  
怒りは、いまにも燃えようとしている。
- 13 幸いなことよ。すべて主に身を避ける人は。

(詩篇 2:7-12)

わお！

これは、超ユダヤ的、旧約聖書に超適<sup>かな</sup>っています。神に御子がいる、というのは、超聖書的です。  
ちなみに、このために、イエスが神の御子だと認識した、初めの人、  
カナのナタナエルで、彼は言いました。

49 …「先生。あなたは神の子です。…」

(ヨハネ 1:49)

それから後に、ペテロもそう言いました。

しかし彼らがそう言ったのは、ただ、神が、彼らにそれを明かされたからで、神はそれを、彼の預言者たち  
と御言葉を書いた人たちに、明かされたのです。これは、誰かのおかしな思いつきではありません。神には  
御子がいて、神はそれを明言しておられます。  
それから興味深いのは、神は、彼を、処女を通して世にもたらされました。

- 14 それゆえ、主みずから、あなたがたに 一つのしるしを与えられる。  
見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、

(イザヤ 7:14a)

6 ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。

(イザヤ 9:6)

14 そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。(神は私たちと共におられる)

(イザヤ 7:14b)

面白いと思いませんか？

神は、イザヤを使って、イスラエルの民に言われます。

「わたしは、宗教を憎む。わたしは、偽りのものを憎む。わたしは、偽善を憎む。」

「それから、一つ、言うておく。あなたには、希望がある。ユダヤ人として、イスラエル人として、  
わたしの民として、あなたの希望は、あなたの義ではない。あなたの宗教でもない。」

彼は、イザヤ書 1 章で言うておられます。

14 あなたがたの新月の祭りや例祭を、わたしの心は憎む。

(イザヤ 1:14)

14 それゆえ、主みずから、あなたがたに 一つのしるしを与えられる。 見よ。処女がみごもっている。

(イザヤ 7:14a)

これらは、新約聖書ではありません。私は、福音書を読んでいるのではなく、預言者イザヤを読んでいるのです。興味深い。

なぜ、彼は女から生まれなければならなかったのか？

それは、敵、サタンの頭を踏み砕くのと、女の種でなければならなかったからです。（創世記 3:15 参照）

また、興味深いのは、私たちは、彼がどのように来て、いつ来るのかを知っているだけでなく、彼が、どこで生まれるのかも知らされています。

聖書には、ミカ書 5 章 2 節でこう告げています。

2 ベツレヘム・エフラテよ。あなたは、ユダの氏族の中で最も小さいものだが、  
あなたのうちから、わたしのために、イスラエルの支配者になる者が出る。  
その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。

（ミカ書 5:2）

覚えていますか？「永遠の父」、「平和の君」。驚きです。

ですから、彼は、ベツレヘムで生まれなければならないことが分かります。

そうでなければなりません。

イエスご自身が、ルカ 24 章 44 節で、弟子たちに言うておられます。

44 …「わたしがまだ、あなたがたといっしょにいたころ、あなたがたに話したことはこうです。  
わたしについてモーセの律法と預言者と詩篇とに書いてあることは、必ず全部成就するというのでした。」

（ルカ 24:44）

彼は、偶然生まれたものではありません。彼は、誰かの滅茶苦茶な思いつきではありません。

イエスは、彼について書かれている、モーセの律法と預言者と詩篇とを、細部にわたって成就するために来られたのです。

それから、念頭に置いてください。イエスが驚くべきことをされた、これら 3 つの主要な場所は、その名前が、彼の行<sup>おこな</sup>うべきことを証言しています。

ベツレヘム（בית לחם）は、イエスの生まれた地ですが、イエスはいのちのパンです。彼が、「わたしはパンである。」と言われました。そして彼は、パンの家で生まれたのです。ベツレヘムとは、パンの家という意味です。

彼の子ども時代は、ナザレ（נצרת）で過ごされました。ナザレの語源は、ヘブル語で枝を意味します。イザヤ 11 章に書かれています。興味深いですね。

そして彼は、エルサレムで十字架に架けられ、死に、葬られて、よみがえりました。

エルサレム（ירושלים）は、ヘブル語では、完成する、完了する。ヨハネの福音書で、彼は十字架の上で言いました。「完了した」（ヨハネ 19:30）

これらの名前は全て、ヘブル語での意味を含んでいます。

彼はパンの家で生まれなければなりませんでした。彼は、天から与えられたいのちのパンですから。

彼は、ナザレで育たなければなりませんでした。彼はエッサイの根株から出た、若枝ですから。

彼は、エルサレムで、十字架にかからなければなりませんでした。完成、完了されたからです。

それによって、私達には平安があります。エルサレム、その中には、「平安」を意味する、「シャローム」（שלום）も含まれています。

ところで、イエスは生まれ、生まれたのは、男の子でした。

こんにち、人々は出し抜こうとして、神は、女性かそれとも男性か？とか、ある音楽の授賞式典では、神は女性だと言ったり、全てに対して、彼ら革新派は何でもありで、次から次へと、物事を破壊しようとしたり、

全て変えようとしませう。性別はもはや、語ることも出来ません。しかし、興味深いことに、彼は、男の子でした。

6 ひとりの男の子が、私たちに与えられる。

(イザヤ 9:6)

彼は、男の子でした。

といっても、神が女の子より男の子の方が好きだとか、そういうことではありません。それでも、彼は男の子だったのです。

興味深いことに、第一コリント 11:3 が告げています。

3 しかし、あなたがたに 次のことを知っていただきたいのです。すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神です。

(第一コリント 11:3)

これが、物事の順序です。

ですから、キリストが、かしらなら、彼は地上にいた時、男だったのです。女ではありません。

創世記 3:15 は、こう告げています。

15 わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫(種)との間に、敵意を置く。

“卵”ではなく、“種”でなければなりません。

“彼”は、(“彼女”ではなく)おまえの頭を踏み砕き、おまえは、“彼”のかかとかみつく。」

(創世記 3:15 “”は訳者補足)

それから聖書には、彼が、「私たちのために生まれる」と書かれています。

面白くないですか？ 普通、人は、人々のためには生まれません。両親の元にだけ生まれます。

しかし聖書は、言います。イエスが生まれる前、御使いがヨセフの所に来ました。マタイ 1 章 20-21 節です。

20 …主の使いが夢に現われて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れなくて あなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。

21 マリヤは“男の子”を産みます。その名をイエスとつけなさい。(ヘブル語でイエシュア/יֵשׁוּעַ)

この方こそ、“ご自分の民”を その罪から救ってくださる方です。」

(マタイ 1:20-21)

御使いは、ヨセフに言っています。これは、あなたのためではない、私たちのため、私たち全員のためです。全国民のため、全世界のため。これは男の子で、名前は、救い、“イエシュア”

そして彼は、ただ、あなたとあなたの妻だけでなく、彼の民、全ての言語、全ての国の全ての人種を救われる。彼の民を彼は救われる。

それから、彼は言います。

6 …ひとりの男の子が、私たちに与えられる。

(イザヤ 9:6)

「購入する」のではなく、「与えられる」これは、賜物です。

ローマ 5 章 15-17 節にはこうあります。

15 ただし、恵みには違反の場合とは違う点があります。もし、ひとりの違反によって多くの人々が死んだとすれば、それにもまして、神の恵みとひとりの人イエス・キリストの恵みによる賜物とは、多くの人々に満ちあふれるのです。

16 また、賜物には、罪を犯したひとりによるばあいと違った点があります。さばきの場合は、一つの違反のために罪に定められたのですが、恵みの場合は、多くの違反が義と認められるからです。

- 17 もしひとりの人の違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりのイエス・キリストにより、いのちにあって支配するのです。

(ローマ 5:15-17)

ところで、これは、賜物です。

では、誰が誰に、この賜物を与えたのですか？

聖書は、新約聖書の中で、最も引用されている箇所、こう告げています。ヨハネ 3 章 16 節。

- 16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

(ヨハネ 3:16)

イエスは唯一、全世界を救い裁くという約束を伴って生まれた王です。

そして彼は、唯一、生まれる前に名前が与えられた王です。彼の名前は、両親が決定したものではありません。興味深いですね。

そこで、私から皆さんに質問です。私はユダヤ人で、ユダ族出身で、多くの人が、私に尋ねます。

「クリスマスを祝いますか？」

そこで私は答えます。

「私は、あなたがそれを何と呼ぼうと構いません。ただ、私に質問するなら、“あなたはメシアの誕生を祝うのか？”もしくは、“あなたは祝うべきか？”と聞かないと。」

ちなみに、ヘブル語では、私達は、「CHRIST-MAS/クリスマス」とは言いません。

「Christ/キリスト」の「mass/ミサ」ではありませんから。

私達は、こう言います。「誕生の祭日」私達は、メシアの誕生を祝います。

一つお伝えしますと、多くのユダヤ人たちは、恐れます。メシアニック ジューたちは、クリスマスについて何か言うのを恐れます。

「それでは私たちが、異邦人みたいじゃないか。」「非ユダヤ人みたいに見える。」

「世界中のクリスチャンたちとか、異教徒みたいだ。それは、関わっちゃいけない。」

でも、お祝いの意味は何ですか？ お祝いとは、喜びと感謝の表われです。

ルカ 2 章 13-14 節は、こう告げています。

- 13 すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢が現われて、神を賛美して言った。

- 14 「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」

(ルカ 2:13-14)

イエシュア、イエスのこの世での誕生で、この地上だけでなく、天でも盛大な祝いが起こったのです。

多くの天の軍勢が、神を賛美して言っているのです。

「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」

ですから、私には、メシアの誕生を祝うことは、それほど、奇妙でおかしな事には聞こえません。

もし、そのお祝いが、本当に、彼が生まれた事に対するお祝いなら。

それから、皆さんにもう一つお伝えしたいのは、

これほど重要な、聖書の出来事を祝う事より、安息日や何かの祭日を、彼を知りもせずに祝う方が、よっぽど悪いです。

先ほども言いましたが、イザヤ 1 章で、神は言われました。

- 12 あなたがたは、わたしに会いに出て来るが、だれが、わたしの庭を踏みつけよ、とあなたがたに求めたのか。

- 13 もう、むなしいささげ物を携<sup>たずさ</sup>えて来るな。香<sup>こう</sup>の煙<sup>けむり</sup>——それもわたしの忌<sup>い</sup>みきらうもの。  
新月の祭りと安息日——会合の召集、不義と、きよめの集会、これにわたしは耐えられない。

## 14 あなたがたの新月の祭りや例祭を、わたしの心は憎む。

…皆さん、彼は「わたしの心は憎む」と言われます。

それはわたしの重荷となり、わたしは負うのに疲れ果てた。

## 15 あなたがたが手を差し伸べて祈っても、わたしはあなたがたから目をそらす。

どんなに祈りを増し加えても、聞くことはない。あなたがたの手は血まみれだ。

(イザヤ 1:12-15)

ですから、私は言いますよ。

もしあなたに、新しい心を与えられたのなら、あなたに新しい心を与えた方の誕生を祝いませんか？意味も分からず、伝統を祝うのではなく。

皆さんが、理解しておくのは、非常に重要です。ユダヤ人として、ユダヤの王の誕生を、どうして祝わないのですか？

私は、ユダヤの王の誕生を祝うには、季節を利用して、その理由を語るのが一番だと信じています。

そしてこれは、皆さんの一人一人もまた、知っておくべきことだと思います。

私は、考えていたのですが、全て、クリスマスのシンボルとなるもの、星型の小さなクッキーとか、プレゼントとか、「Joy to the World/もろびとこぞりて」を歌ったり、ツリーとか、そういったことは全て、異教的なことかも知れません。完全に聖書的ではないかも知れません。でも、考えてみてください。

考えてみてください。どちらにしても、皆、それをします。

皆、こういったクッキーを焼きますし、皆、これらのツリーを飾り、皆、プレゼントを持って、皆、Joy To The World を歌います。

そこで、皆さん全員に、私からの提案は、イエスが、星だと伝えましょう。黙示録 22:16 に、彼は「輝く明けの明星である」と書かれています。

イエスが、プレゼントだと伝えましょう。第二コリント 9 章には、彼は「ことばに表せないほどの賜物」だとあります。

イエスは「Joy/喜び」だと伝えましょう。彼は、私たちの救いの喜びです。

そして、イエスは「いのちの木/ツリー」だと伝えましょう。

## 8 主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。

(詩篇 34:8)

彼は、いのちの木のように、あなたが味わうなら、あなたがイエスを受け取るなら、あなたは決して死にません。美しいじゃないですか。

ですから、異教の性質を持つ、あまりにも多くの物の中に住むのではなく、ただそれらを使って、皆に、この季節の理由を伝えましょう。

当時、小アジアの、最も異教の都市、コリントでのパウロを、覚えていますか？

コリントの町は、娼婦たちでいっぱい寺院が溢れかえっていた所です。

そこへ毎日毎日、自分たちの欲望を満たすために、大勢の人々が行っていました。神々を拝むためではなく。

そこは、神々を拝むという名の下に、そういった事が行われ、最も墮落した場所でした。ところでこれは、ソドムとゴモラが可愛く思えるほどですよ？

その町で、こういった人々に向かって、パウロは言いました。

## 19 私はだれに対しても自由ですが、より多くの人を獲得するために、すべての人の奴隷となりました。

## 20 ユダヤ人にはユダヤ人のようになりました。それはユダヤ人を獲得するためです。

律法の下にある人々には、私自身は律法の下にはいませんが、律法の下にある者のようになりました。

それは律法の下にある人々を獲得するためです。

## 21 律法を持たない人々に対しては、——私は神の律法の外にある者ではなく、キリストの律法を守る者ですが、——律法を持たない者のようになりました。それは律法を持たない人々を獲得するためです。

- 22 弱い人々には、弱い者になりました。弱い人々を獲得するためです。すべての人に、すべてのものとなりました。それは、何とかして、幾人かでも救うためです。
- 23 私はすべてのことを、福音のためにしています。それは、私も福音の恵みとともに受ける者となるためなのです。

(第一コリント 9:19-23)

ですから、皆さんにお伝えします。皆さん全員にお願いします。

この季節を利用して、その理由を伝えましょう。

これは異教だとか言って、お高くとまっていなくて、彼らに言いましょう。

「ああ。ツリーだね。本当のツリーについて話してあげる。」

「ああ、星型のクッキーだね。本当の星が誰なのか、教えてあげよう。」

「わお！すごいプレゼントだね！本当のプレゼントが何なのか、教えてあげるよ。」

「本当の喜びを教えてあげよう。」

「イエスです。」

私は、はっきりと言えます。彼は、12月25日に生まれたものではありません。

これは、異教の祝日です。それは、私も分かっています。

しかし、イエスがクリスマスの日に生まれたのではないにしても、彼は生まれたのですから、神をほめたたえます。そして、もし、彼らが今日お祝いするのなら、彼の誕生を祝いましょう。

ところで、私の教会の長老の一人が、昨日、メッセージの後私のところへ来て言ったのが、

「聖餐式をする度に、毎回私達は、彼の死を思い出すだけでなく、彼の誕生も思い出さなければならない。彼が、まず、生まれなければ、彼は、死ぬことが出来なかったのだから。」

皆さん、私達はそれを忘れてはなりません。

私達は、メシアの誕生、人生、死、十字架、埋葬、よみがえり、全てを祝わなければなりません。

もし、世が、とりあえずそれを祝っているなら、あなたはその瞬間、その機会を利用して、この季節の理由を彼らに伝えませんか？

これが、私が、「ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。」が聖書的だと信じる理由です。

これは、敬虔なこと、これは、400年の沈黙の後、世が受け取った、最も重要なメッセージです。

そして、神が初めて、全ての人に、全ての場所で伝えておられるのです。

「今が、悔い改める時だ。もはや、言い訳はできない。わたしは救い主を送ったのだ。救い主がダビデの町で生まれた。今、彼は、わたしの完璧な御心を成就させるために来る。彼は、あなたの方のために死ぬ。」だから、明日のクリスマスは、彼の誕生、彼についての知識、来て、語られたこと全てを成就した、彼の従順を知って、楽しんでください。

イエスは、栄光の御座を下りて、この地球へ来られました。彼は、ご自身で、しもべの姿をとられました。それから、今、彼は、あちらの御父の右手に戻って、私たちのためにとりなしておられます。それから、なんと、第一テサロニケ4章は、主ご自身が再び下って来られる、と告げています。

彼は、世に伝えるために来られただけでなく、彼は、彼の教会をとっても愛しておられ、ご自身天から下って来られます。それから、私達は、雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。彼は、私たちのことをものすごく愛しておられ、また再び、御座を降りて、私たちを迎えに来られます。

もうすぐ、もうすぐ私たちは、王にお会いします。

ハレルヤ！

以上がメッセージでした。

このメッセージを周りの人たち広めて、メシアの誕生を喜び祝いましょう。

私達は、罪に定められることはありません。季節を利用して、世にその理由を伝えましょう。

お父様。ありがとうございます。

あなたは、あなたの約束に忠実な神です。  
 救い主を送るといふ、あなたの約束に感謝します。  
 あなたは、あなたのひとり子を送り救うといふ約束を、700年前にされました。  
 そして、イエスが来られ、モーセと詩篇、預言者たちを通して語られた全てを成就されました。  
 その事で、あなたをほめたたえます。  
 そしてお父様。彼の教会である私たちは、彼がすぐにも戻って来て、私達をここから連れて行ってくださることを期待して、今を生きています。  
 それから、彼と共にこの地上に戻って来て、彼とともに統治します。  
 私たちは、永遠の永遠に彼とともにいます。  
 あなたは、以前これらの約束を成就されたように、将来のことも全て確実に成就してください。  
 あなたの御名を賛美します。  
 お父様。どうか、このメッセージを観る人達が、イエスを知って救われますように。  
 天では大きな喜びの声が上がります。それは、救い主が生まれただけでなく、一人の人が、御国に加えられるからです。  
 小羊の書に、名前が加えられます。  
 あなたに感謝し、あなたを祝福します。この全てを、イエシュアの御名によって、お祈りします。

ヴェイシエメレハー	アドナイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבַרְכְּךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	ヤーエール
וַיַּחַן	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יָאֵר
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	イッサー
שָׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナイ ヴェイシエメレハー  
 ヤーエール アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー  
 イッサー アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

平和の君から来るシャローム、平和。

お父様、ありがとうございます。イエスの御名によって。アーメン。

ありがとうございます。God bless you! イスラエルの第三都市ハイファより、シャーローム。

I love you all! God bless you!

このメッセージを、シェア拡散してください。世は、神を知らなくてはなりません。

God bless you! さようなら。

---

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【注釈】

ヘブル語の表記 : Say-Hi App